

# 岩手大学キャンパスのご案内



**岩手大学図書館**  
二階の専用教室が通常の講義会場となります。



**岩手大学正門**



**農業教育資料館**  
旧盛岡高等農林学校時代の本館です。



- 岩手大学へのアクセス**
- バス(盛岡駅前バスターミナル11番のりば)
    - ◎岩手県交通バス 駅上田線  
乗車…「松園バスターミナル行き」 下車…「岩手大学前」
    - ◎岩手県交通バス 駅桜台団地線  
乗車…「桜台団地行き」 下車…「岩手大学前」
  - タクシー利用 盛岡駅から約2km 約10分
  - 徒歩 盛岡駅から約25分

**及源铸造株式会社**

岩手県奥州市の鉄器の歴史は、奥州藤原氏が栄えた時代に清衡が近江国(現在の滋賀県)から鋳物職人を呼び寄せたのが始まりです。北上山地の砂鉄や木炭、北上川流域から出る良質の砂や粘土が豊富であったことから鋳物業が栄えました。及源鋳造は及川源十郎鋳造所として明治時代に創業し、現在では、クオリティの高い鉄器の欧米への輸出にも力を入れています。

**大船渡市立博物館**

大船渡市立博物館は、碓石海岸のある松崎半島にあり昭和41年に登録博物館として認定を受けました。地質展示室や考古・民族展示室、特別展示室などを備え、「大船渡その海と大地」をテーマとした展示を行っています。海辺の生物観察会や地質観察会も企画しており、体験型の学習も充実しています。

**三陸鉄道南リアス線**

三陸鉄道は、北リアス線(久慈駅~宮古駅)と南リアス線の二つの鉄道路線となっています。南リアス線は、大船渡市の盛駅~釜石市の釜石駅までを結ぶ全長約37kmの路線で、2014年4月5日に全線での運行が再開されました。震災学習列車やお座敷列車、レトロ列車などの企画列車も運行させています。

お申し込み・お問い合わせは

国立大学法人 **岩手大学**岩手大学シニアカレッジ事務局  
(岩手大学地域連携推進機構内)〒020-8551 岩手県盛岡市上田四丁目3番5号  
TEL.019-621-6492、6852 FAX.019-621-6493  
E-mail renkei@iwate-u.ac.jp**【募集要項】**

- ①募集人員 30名  
 ②最少実施人員 25名  
 ③開催期間 2015年(平成27年)9月2日(水)～9月8日(火)  
 ④開催場所 岩手大学(盛岡市上田三丁目18番8号)  
 ⑤参加資格 学習意欲をお持ちの方(年齢制限、入学試験ともありません)  
 ⑥受講料 70,000円(消費税込み、1泊1食(朝食)込み)  
 ※この事業は、国立大学法人岩手大学の収益事業ではありません。
- ⑦受講料に含まれるもの  
 全13講義受講料、入学式、オリエンテーション、学内施設利用、移動バス料金、学外施設入館料、卒業式  
 ※9/6(日)の大船渡市内の宿泊費(1泊1食(朝食))が含まれます。
- ⑧受講料に含まれないもの  
 上記以外の宿泊・滞在費、ご自宅～岩手大学～ご自宅までの交通費
- ⑨お申し込み方法  
 岩手大学シニアカレッジ事務局へご連絡ください。事務局より参加申込書をお送りします。  
 その申込書に必要事項をご記入の上、郵送又はFAXしてください。
- ⑩中 止  
 申し込みが最少実施人員に達しない場合は、シニアカレッジを中止することがあります。  
 中止の決定は、シニアカレッジ開催日の30日前に行い、シニアカレッジ事務局から皆様ご連絡差し上げます。
- ⑪学外講義  
 沿岸地域で行う学外講義については、岩手県北自動車(株)への業務委託として実施します。

**【個人情報のお取り扱いについて】**

お客様の個人情報は、国立大学法人岩手大学によるシニアカレッジ関係の各種案内、大学情報、旅行・観光情報やその他の生活関連情報をご提供するために使わせていただきます。それらの目的以外に使用する場合には、事前にお客様に通知して同意をいただきます。  
 また、ご提供いただいた個人情報は慎重に管理し、紛失、漏洩等を防止するために、完全管理を講じています。

**【受講のご案内】**

- シニアカレッジ申し込み方法  
 ●シニアカレッジ事務局へ申込書を郵送又はFAXしてください。申込書到着後、シニアカレッジ事務局より「岩手大学シニアカレッジのお手続きについて」をお送りします。お申し込み後、10日たっても案内書が届かない場合には、お手数ですがお電話ください。
- シニアカレッジ申込上の注意  
 ●受講のお申し込み受付は、先着順とさせていただきます。
- お支払い方法は、原則として銀行振り込みとなります。  
 ●受講料振込の際の手数料は、お客様の負担となります。  
 ●受講料のお支払いは、請求書をお受け取り後、1週間以内にお願いたします。  
 ●受講料は、すべて消費税を含む料金です。
- キャンセル  
 ●キャンセルの場合は、電話でご連絡ください。シニアカレッジ開始日以降のキャンセルによる受講料の返金はいたしません。  
 ※Eメールでのキャンセルの受付は一切いたしませんのでご注意ください。  
 ●キャンセルの場合には、規定の取消料及び返金手数料(振込手数料)を差し引いてご返金します。
- シニアカレッジの変更  
 ●講師の緊急の都合等による場合、中止・延期・時間変更・時間短縮・別の講師の代替えとなる場合がありますので、予めご了承ください。
- その他  
 ●大学キャンパス内では、全面禁煙となっております。  
 ●貴重品は必ず手元におき、盗難・紛失にはご注意ください。

# 岩手大学 シニアカレッジ2015

岩手大学シニアカレッジは、岩手大学と岩手県内の自治体や各地域の方々が連携して実施する滞在型生涯学習プログラムです。「学びたい」という動機があれば、どなたでも参加できます。年齢制限や入学試験はありません。

大学構内の専用教室での講義やフィールドワークなどを通じて、受講生同士の交流、地元、学生たちとの出会いの場ともなります。豊富に経験を積まれたこの時こそ、学べる、学び直せるという楽しみを存分に味わってみませんか。



## 岩手大学シニアカレッジの特徴

「何かの機会に学び直したいと思っていた」、「前々から知りたいと思っていた」など、本格的に学びたいというお声を良くお聞きします。岩手大学は、皆様の向学心にお応えしたいと思い、滞在型生涯学習事業として、岩手大学シニアカレッジを企画しました。

岩手大学シニアカレッジに入学された皆様は、「岩大(がんだい)生」として毎日岩手大学に通学して学んでいただくこととなります。そこで、大学教員や地域の方々に講師に授業を受け、正に学生時代に戻ったような毎日を過ごしていただくこととなります。もちろん、学生と同じように学生食堂や図書館、大学生協などの施設を利用できますし、図書の貸し出し(無料)も受けられます。

カリキュラムは、岩手大学の研究成果と「いわて」の地域性を加味した内容とし、岩大キャンパスを飛び出す学外授業もあります。

今回のテーマは、『三陸ジオパーク』です。「三陸」とは、「陸前国」、「陸中国」、「陸奥国」の3つの「陸」がつく地域の総称です。シニアカレッジでは、古生代から中生代の多様な地質やリアス式海岸、次世代に語り伝えて行く震災遺構など豊富なジオサイトに触れていただきながら、大地から歴史・文化まで幅広く学んでいただく授業としました。

もちろん学外に飛び出すフィールドワークもあります。奥州市では地場産業である鋳物に関する講義と工場見学、陸前高田市と大船渡市では震災遺構などの現地学習、また、住田町では地元の方々とのニュースポーツ交流会の実技体験を予定しています。さらに、大船渡市から釜石市までは、三陸鉄道南リアス線の震災学習列車に乗車し移動します。

今回は、特にこれまでとは違った岩手の魅力に触れられ、皆様の向学心をきっと満足していただけるものと確信しております。「イーハトーヴの学舎 岩手大学キャンパス」で皆様をお待ちしております。

## お申し込みから受講まで

- 岩手大学シニアカレッジ事務局へご連絡ください。参加申込書をお送りいたします。
- 参加申込書に必要な事項をご記入の上、岩手大学シニアカレッジ事務局宛に申込書を郵送又はFAXしてください。
- ※ 参加申込書到着後、シニアカレッジ事務局から開講までのご案内書をお送りします。申し込み後、10日経っても案内書が届かない場合には、お手数ですが電話連絡をお願いします。
- ※ 先着順に受付します。定員になり次第申し込みを締め切ります。

- 受講料 70,000円(税込・1泊1食込)
  - ※ この事業は、国立大学法人岩手大学の収益事業ではありません。
  - 受講料に含まれるもの  
全13講義受講料、入学式、オリエンテーション、学内施設利用、移動バス料金、学外施設入館料、卒業式
  - ※ 9/6(日)の大船渡市での宿泊費(1泊1食(朝食))が含まれます。
  - 受講料に含まれないもの  
上記以外の宿泊・滞在費、ご自宅～岩手大学～ご自宅までの交通費



- 特別補償  
本学は、シニアカレッジ期間中について、国内旅行傷害保険に加入します。お客様がシニアカレッジ参加中に急激かつ偶発な外来の事故により、その身体または手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲内において、補償金が保険会社から支払われます。  
・死亡後遺障害 9,680万円 ・入院保険金日額 5,000円 ・通院保険金日額 3,000円 ・携行品損害 10万円(限度額)
- 国内旅行保険への加入について  
お客様が事故に遭われた場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難である場合があります。このことから、お客様ご自身で十分な額の国内旅行保険に加入されることをお勧めします。

# スケジュールと講義内容



- 講義7～講義12は、全て学外会場となります。
- 9/5(土)は、奥州市に移動します。(日帰り)
- 9/6(日)は、陸前高田市、大船渡市へと移動し、その日は大船渡市内に宿泊となります。その際の宿泊料(朝食込み)は、受講料に含まれています。
- 学外会場への移動バス料金は、受講料に含まれています。

スケジュール	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00		
1 9/2(水)									受付	入学式	休憩	講義1 東日本大震災の復興活動と大学の役割を考える 岩手大学長 岩淵明	オリエンテーション	おでんせパーティー ~19:30
2 3(木)		講義2 啄木、借金の言い訳 啄木ソムリエ 山本玲子氏	休憩	講義3 三陸被災地域における園芸振興 —「かんちゃんの三陸野菜畑」の試み— 農学部 准教授 松嶋卯月	昼休み				オプションツアー(検討中)「もりおか町屋物語」/ 放課・自由時間					
3 4(金)		講義4 東日本大震災を振り返り、 今後に対応すべきこと 工学部 准教授 山本英和	休憩	講義5 犯罪予防から暮らしの安心を考える 人文社会科学部 准教授 鈴木 護	昼休み	講義6 東日本大震災と心のケア 三陸復興推進機構 特任准教授 佐々木 誠			放課・自由時間					
4 5(土)	7:30~ 移動 (盛岡市~奥州市博物館交流センター)	講義7 身の回りの金属の不思議な性質と 鑄造技術 工学部 教授 平塚貞人	休憩	講義8 錆を防ぐ技術—南部鉄器の例を交えて— 工学部 教授 八代 仁	昼休み	見学(南部鉄器工場 ほか)		移動 (奥州市~盛岡市)	放課・自由時間					
5 6(日)	7:00~ 移動 (盛岡市~陸前高田市コミュニティホール)	講義9 3・11 東日本大震災を風化させない! 私は命を守るために伝えます!あの時があったのか! 一般社団法人 陸前高田被災地語り部 くさこ屋 釘子 明氏	移動 (大船渡市~陸前高田市コミュニティホール)	講義10 『絶景をもっと楽しむ(だけでなく)』 三陸ジオパーク 大船渡市立博物館 館長 佐藤悦郎氏	移動 (陸前高田市~磐石海浜スノリス)	昼食	講義11 三陸鉄道南リアス線 震災学習列車 三陸鉄道南リアス線運行部	移動 (大船渡市博物館~大船渡プラザホテル)	夕食懇親会 ~20:00					
6 7(月)	移動 (大船渡市~陸前高田市コミュニティホール)	講義12 子育て文化(子育ての習俗)再考 教育学部長 新妻二男	休憩	卒業式	休憩 移動	移動 (住田町生涯スポーツセンター~三陸鉄道南リアス線 盛岡)	調整時間	移動 (釜石市~盛岡市)	放課・自由時間					
7 8(火)														

**講義 1**

**東日本大震災の復興活動と大学の役割を考える**

岩手大学長 岩淵明

岩手大学は震災後、三陸復興推進機構を立ち上げ、6部門でそれぞれの活動を展開してまいりました。震災から4年が経過し、被災地の復興も急ピッチで進められております。岩手大学もこれまでの活動をまとめながら、その成果を今後の研究・教育に活用していく予定であります。特に復興を担う人材育成が大学に求められておりますので、それを可能とする新たな組織に変えていく準備をしておりますので、その辺を説明したいと思っております。

**講義 2**

**啄木、借金の言い訳**

啄木ソムリエ 山本 玲子氏

石川啄木が亡くなる3年前程に1,372円50銭の借金メモを書いています。それは啄木の幅広い交友関係を物語ると共に、決してお金に無頓着ではなかったことが窺うことができます。また、経済的理由がもとで夫婦間のトラブルが起こり、その時から付け始めた家計簿からは、啄木の日常生活を窺うことができると共に、借金せざるを得なかったことも納得できそうです。多くの方がこだわっている啄木の借金問題について、一気に解決いたします。

**講義 3**

**三陸被災地域における園芸振興—「かんちゃんの三陸野菜畑」の試み—**

岩手大学農学部 准教授 松嶋 卯月

私が所属している農林畜産業復興推進部門園芸振興班では東日本大震災で被災した地域の農業振興をお手伝いするために、「地域に根ざした新しい園芸作物のブランド化」、「地域の気候にあった園芸作物栽培法の確立」を目的とし岩手大学三陸復興推進機構の一員として活動をしています。講義では、陸前高田に開設している試験圃場「かんちゃん」の様子や、園芸振興班の活動についてお話します。

**講義 4**

**東日本大震災を振り返り、今後に対応すべきこと**

岩手大学工学部 准教授 山本 英和

最初に、地域をささえる防災リーダーの必要性についてお話しします。つぎに、東日本大震災を引き起こした東北地方太平洋沖地震がどんな地震であったのかについてお話した上で、岩手県内で実施した地震被害の震度調査、その原因となった地盤調査についてお話します。最後に、地域の防災を考える上で、今後どのような対策をとれば良いのかについて講義しますが、この講義を通じて皆さんで、今後の対応について考える機会になれば良いと思います。

**講義 5**

**犯罪予防から暮らしの安心を考える**

岩手大学人文社会科学部 准教授 鈴木 護

安全で安心な暮らしを脅かすのは、災害だけではなく、残念ながら、犯罪の被害を自分とは無縁のものと思ってしまうことは、近年では難しい状況になっています。特に、オレオレ詐欺を始めとする振り込め詐欺は、事件が多発するようになって10年以上が経過し、最近では過去最高の被害額を更新しています。そこで主に社会心理学の視点から、こうした犯罪被害が発生する仕組みを理解し、被害を予防するための手立てについて、考えてみたいと思います。

**講義 6**

**東日本大震災と心のケア**

岩手大学三陸復興推進機構 特任准教授 佐々木 誠

自然災害や事件や事故といった大変な危機を経験すると、心や体はそれに向き合うために反応をします。これは当たり前のことなのですが、長くつづく専門的な関わりが必要な状態に変わっていきます。それを防ぐためには心や体の変化の仕組みや対処を知り、当事者や周囲の人たちが実践することが大切です。災害時の心や体の変化とその対処について、岩手県の学校現場でのどのように心のケアに取り組んだのかを紹介しながら学びます。

**講義 7**

**身の回りの金属の不思議な性質と鑄造技術**

岩手大学工学部 教授 平塚 貞人

我々の身の回りには、多くの金属材料があります。鉄に炭素やクロムなどさまざまな元素を加えたり、作り方を工夫することにより性質はどのように変化するのか?その金属の驚くべき性質や特徴について講義します。また、岩手県では南部鉄器、自動車のエンジンブロックをはじめとする鑄造品を数多く生産しています。その鑄造品の作り方も紹介します。

**講義 8**

**錆を防ぐ技術—南部鉄器の例を交えて—**

岩手大学工学部 教授 八代 仁

人類は、自然界には酸化された状態では存在しない金属(鉄鉱石など)を人工的に還元(精錬)し、金属材料として使うことができるようになったと同時に、錆と戦うことにもなりました。錆を防ぐ技術がいかに大切かということは、日本の特許第1号が、錆止めに関する出願であったことからわかります。本講義では、錆の防止に関する基礎と、南部鉄器に施されている錆を防ぐための伝統的な知恵をお伝えします。

**講義 9**

**3・11 東日本大震災を風化させない! 私は命を守るために伝えます! あの時があったのか!**

一般社団法人 陸前高田被災地語り部 くさこ屋 釘子 明氏

体験した事のない激しい揺れと、押し寄せた津波。その時、人々は、どう行動し、どうして犠牲になったのか。生き残った人たちは、どのような体験を避難所でしたのか。絶望の淵で、ライフラインが絶たれた中で、どの様に励まし合い、助け合い、避難所を運営し、命を繋いだのか…災害の際の、避難所の重要性和、安全性を東日本大震災の経験から改めて考えて頂く機会になれば幸いです。「大切な命を守るために、私たちに何ができるのか、なすべきか」を考える時間にしたいと思います。

**講義 10**

**『絶景をもっと楽しむ(だけでなく)』三陸ジオパーク**

大船渡市立博物館 館長 佐藤 悦郎氏

絶景は、だれもが感動します。ジオは、もっと感動させてくれます。小難しく思えるジオですが、実は、絶景感動増幅装置です。なぜなら、絶景の成り立ちや特質を教えてください、地域を知ることが日本列島や地球を理解することまで教えてくれるから。さらに、自然の本質さえ学ぶことができます。3・11災害を体験した私たちは、共生だけではなく共死もあることに気づきました。さまざまなことを、ジオをキーに考えてみましょう。

**講義 11**

**ふれ合い ニュースポーツ 交流会**

住田町地域 スポーツコーナーディレクター 高橋 ふみ恵氏

住田町は、岩手県沿岸南部の気仙地域にあり、大船渡市や陸前高田市の西側に位置しています。4年前の東日本大震災では大きな被害が無かったこともあって、住田町は、遠野市と同様に震災復興の後方支援に徹することとしました。町内3カ所に住田町の特産木である気仙杉を用いた応急仮設住宅を町独自に建設し、陸前高田市の被災された方々にお住まいいただいております。私は、日々の暮らしをサポートする意味で、様々なスポーツ・レクリエーション活動を行っていますが、今回は皆さんに住民の方々と共にニュースポーツを体験し交流していただきたいと思います。

**講義 12**

**三陸鉄道南リアス線 震災学習列車**

三陸鉄道南リアス線運行部

三陸鉄道は、被災地の復興のシンボルとして2014年4月に北リアス線、南リアス線で全線開通しました。震災学習列車にご乗車いただき、被災地の「今」を列車で移動しながら直接「見て」「聞いて」「感じて」いただき、防災のお役に立てればと思います。当日は、大船渡市の盛岡駅から釜石市の釜石駅までの間、震災学習列車を運行し、弊社社員がご案内させていただきます。

**講義 13**

**子育て文化(子育ての習俗)再考**

岩手大学 教育学部長 新妻 二男

現代社会の子育てが抱える課題、例えば子育てのエージェント(担い手)としての母親役割、すなわち「母性」の強調が母親を追い詰めたり、児童虐待の温床になっているという問題や子育てを取り巻く人間関係の狭小化が進行し、子育ての孤立化が深まっていることなど子育ての環境は厳しくなっています。これらの問題について、近代及び近代以前の子育て、文化、習俗を紐解きながら、問題解決のヒントや方法等を経験豊富な受講生の皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。